

主要施策名:(1)自然環境の保全

事務事業本数:4

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(1)自然環境の保全	環境整備課	112-01	環境保全啓発事業
			112-02	環境調査監視事業
			112-03	菊池川流域同盟事業
		土木課	112-04	用悪水路整備事業

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	環境保全啓発事業		所管課 【2】	環境整備課		
			作成者(担当者)	岡本尚師		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり				重点 施策 【4】  <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全				
	施策区分	(2)河川環境の保全				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約					
	■ 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例、玉名市環境基本条例 】 ■ その他の計画【 環境基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 4 項 1 目 4 細目 2					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	近年における社会経済の発展に伴い川の自然浄化作用が低下し、その水質は一部で悪化の傾向もあり、河川環境の保全に対する意識が必ずしも高いとは言えない現状である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、学校、事業者、市内を流れる河川
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いでいく必要があるため、河川の浄化と河川環境の保全を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	市民、学校を対象に川の生物調査を実施。廃油石けん、ぼかし、EM発酵液づくりを行う市民グループと連携し、普及啓発を図る。河川水援隊に定期的な河川の水質調査、監視を委嘱する。生活排水浄化水路を定期的に清掃し浄化機能を維持保全することで浄化水路による自然浄化への監視を高める。外来生物の情報等を発信する。		【15】 事務事業を構成する細事業( 9 )本
			① 河川水援隊事業
			② 環境教育事業
			③ EM活性液・ぼかしの普及事業

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	5,100	0	0
		受益者負担	1	1	0	4	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	987	1,616	1,334	2,028	0
		【16】 小 計	988	1,617	6,434	2,032	0
	職人 員 の 費	職員人工数	0.20	0.35	0.40	0.40	
		職員の年間平均給与(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	1,086	1,944	2,291	2,301	
	合 計		2,074	3,561	8,725	4,333	

# 《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 河川水援隊事業	河川水援隊に定期的な河川の水質検査、監視を委嘱する。	水質検査延べ日数	日	288	288	288	288
② 環境教育事業	市内の小学校児童を対象に環境教育を実施する。	参加人数	人	100	106	109	244
③ EM活性液・ぼかしの普及事業	EM活性液、ぼかしの原料を関係団体へ支給する。	培養液支給量	本	9	14	7	20

# 《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	河川環境保全啓発活動の参加者数	川の生き物調査など河川の保全・浄化啓発に関する活動に参加した延べ人数	人	500	500	450	450
				437	414	483	
2							

# 《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必要 妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いで行くためには市が推進すべき事業である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	長期的に取り組む事業であり、社会情勢の変化はあるものの、現時点で目的は適当である。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	河川の水質汚濁への対応が遅れることで市民の生活に影響を及ぼす恐れがある。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	川の生き物調査の参加者、石けん加工施設の利用者が増加したことにより目標を達成している。
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	現時点で適当な構成になっているが、今後も効果的な細事業を模索していく。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	必要最低限の予算の執行に努めている。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	現状では見直しについて検討の余地はないが、可能であれば積極的に検討していく。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	民間団体等と連携し事業を推進している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はない。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	天水石けん加工施設の使用料の負担水準は、施設の状況や利用形態から現時点で適当である。

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する 見直し・改善状況  【24】	(前回のふりかえりの内容)		
	老朽化が著しい天水石けん加工施設を既存の公共施設に機能集約し、利用しやすい施設への改修と管理コストの低減を図る。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了		
	次年度の方向性に対する 判断理由及び見直し・改善の 具体的内容		
	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いでいくため、河川の浄化と河川環境の保全を推進していく。		

# ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	河川水援隊員と連携し、河川の浄化に努めるとともに、次世代を担う人づくりのために水生生物調査や環境教育を引き続き実施していく。また、石けん加工施設を市民の活動の場として提供することにより環境保全及び水質汚濁の防止に対する意識の高揚を図っていく。	評価責任者 <b>西川慶一郎</b>
----------------------	---	-----------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	環境調査監視事業		所管課 【2】	環境整備課		
			作成者(担当者)	三村 齊也		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり				重点 施策 【4】  <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全				
	施策区分	(2)河川環境の保全				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約					
	■ 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例、玉名市環境基本条例、総合計画 】					
事業区分 【6】	■ その他の計画【 公害防止に関する協定書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業					
会計区分 【7】	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 4 細目 3					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	河川等の水質汚染や土壌、大気汚染などの環境汚染問題が発生した地点の経過を監視することは環境対策のひとつであり、市の責務である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、事業所
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	環境汚染問題が発生した地点や発生する恐れがある地点について、定期的に調査・監視することで、問題の早期発見を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
	【 年度】	【 H17 年度から】	【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	■ 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	河川の水質検査を実施し、水質の経年変化を把握。水環境の保全施策に役立てる。特定工場排水の調査、監視を実施し適正な排水を促す。		
	【15】 事務事業を構成する細事業( 2 )本		
	⇒ ① 河川水質検査業務		
	② 工場排水土壌検査業務		
	③		

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	393	398	460	594	0
		【16】 小 計	393	398	460	594	0
	職 人 員 件 費	職員人工数	0.08	0.30	0.25	0.25	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	434	1,666	1,432	1,438	
	合 計		827	2,064	1,892	2,032	

# 《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 河川水質検査業務	河川の水質検査を実施する。 (岱明地区8か所×6回、 天水地区6か所×2回)	検査回数	回	55	56	59	60
② 工場排水土壌検査業務	特定工場排水の調査、監視を実施する。 (2事業所+周辺水路等)	検査回数	回	10	10	10	10
③							

# 《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	工場排水土壌検査異常箇所数	調査を行い異常があった箇所数	所	0	0	0	0
				0	0	0	
2	異常箇所調査及び指導率	調査及び事業者指導した箇所/調査結果に異常があった箇所	%	100	100	100	100
				100	100	100	

# 《事務事業の評価》

評価視点		判断理由
(必要 妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が実施するよう法令等で義務づけられていないが、市民の共有財産である美しく豊かな河川を次代へ引き継いで行く責務がある。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 現在も汚染問題が発生する恐れがあるため、定期的な調査・監視が必要である。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 異常が発生した場合、市民の生活や活動等に影響を及ぼす恐れがある。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 調査結果に異常がなかったため。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的達成のための構成は適当である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 検査回数を減らすことに検討の余地はあるが、結果を公表している地域住民の理解が必要と考える。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現時点で適当であるが、可能であれば積極的に検討していく。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 検査は民間に委託しており、これ以上の民間活力の活用について検討の余地はない。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業はない。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担はなじまない。

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)		
	採水ができなかった2か所については、今後も継続した検査ができるか注視していく。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
【24】	昨年度に比べて検査率が上昇したが昨年度と同様に採水ができなかった地点が1か所あった。自然要因と思われるが、今後も継続した検査ができるか注視していく。		
次年度の方向性	<div><div><input type="checkbox"/> 拡充して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> 縮小して継続</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 執行方法の改善</div><div><input type="checkbox"/> 休止・廃止</div><div><input type="checkbox"/> 終了</div></div>		
次年度の方向性に対する 判断理由及び見直し・改善の 具体的内容	採水ができなかった箇所については、今年度も同様にできなかった場合は採水地点を移動することが可能か業者や課内で検討する必要がある。		

# ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	特定工場の排水調査及び河川水質調査を行い数値を経年的に把握することにより、環境の悪化や公害の発生を未然に防止し、市民の日常生活を取り巻く環境の保全を図っていく必要がある。	評価責任者
【26】		西川慶一郎

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	菊池川流域同盟事業		所管課 【2】	環境整備課										
			作成者(担当者)	岡本尚師										
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり						重点 施策 【4】						
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全												
	施策区分	(2)河川環境の保全						□ 該当						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市の河川を美しくする条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし													
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務													
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【						款	4	項	1	目	4	細目	7

## 《事務事業の目的》

<p>事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)</p> <p>【8】</p>	<p>近年における社会経済の発展に伴い川の自然浄化作用が低下し、その水質は一部で悪化の傾向もあり、河川環境の保全に対する意識が必ずしも高いとは言えない現状である。</p>
<p>対象 (誰、何に対して、受益者等)</p> <p>【9】</p>	<p>市民</p>
<p>意図 (どのような状態にしたいか)</p> <p>【10】</p>	<p>市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いで行く必要があるため、菊池川流域9市町が連携して河川環境の保全に努める。</p>

## 《事務事業の概要》

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】      【 H17 年度から】      【      年度～      年度まで】	
事業主体	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 菊池川流域同盟 】	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】	
事務事業の具体的内容  【14】	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いで行く必要があるため、菊池川流域9市町が連携して河川環境の保全に努める。流域河川の水質調査、外来生物の監視、ホタル情報の発信を行う。2年に1回、水援隊員及び市町村担当者研修を実施する。	【15】 事務事業を構成する細事業（ 1 ）本
		① 菊池川流域同盟事業
		②
		③

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	840	840	840	0
		【16】 小 計	0	840	840	840	0
	職人 件費	職員人工数	0.43	0.40	0.35	0.35	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	2,334	2,222	2,004	2,013	
合 計		2,334	3,062	2,844	2,853		



# 《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 菊池川流域同盟事業	菊池川流域水質保全のための啓発事業実施(河川水質・事業所排水検査、フラスコテスト・水質調査)	実施回数	件	5	5	6	6
②							
③							

# 《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	R07実績
1	河川水質基準達成率(BOD)	基準達成箇所／調査箇所(18箇所×2回)※別表2生活環境の保全に関する環境基準(河川)参照	%	100	100	100	100
2							

# 《事務事業の評価》

評価視点		判断理由
(必要性) 【20】	<b>【実施主体の妥当性】【20-1】</b> 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市民の共有財産である美しく豊かな河川を保全し、次世代へ引き継いで行くためには市が推進すべき事業である。
	<b>【目的の妥当性】【20-2】</b> 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	長期的に取り組む事業であり、社会情勢の変化はあるものの、現時点では目的は適当である。
	<b>【休廃止の影響】【20-3】</b> 事務事業を休止・廃止した場合、市民に影響はないか。 <input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	河川の水質汚濁への対応が遅れることで市民の生活に影響する恐れがある。
(有効性) 【21】	<b>【目標の達成度】【21-1】</b> 成果指標の目標は達成できたか。達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	調査箇所のすべてにおいて環境基準を満たしている。
	<b>【細事業の妥当性】【21-2】</b> 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	菊池川流域9市町で環境保全事業に取り組んでおり、適当な細事業となっている。
(効率性) 【22】	<b>【コストの低減】【22-1】</b> コストの低減について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	事業の一部について見直しを行うなど、コスト低減を意識して取り組んでいる。
	<b>【執行過程の見直し】【22-2】</b> 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	オンライン会議を導入している。
	<b>【民間活力の活用】【22-3】</b> 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	住民ボランティア団体等と協力して事業を推進している。
	<b>【類似事業との統合】【22-4】</b> 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似する事業はない。
(公平性) 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	本事業で受益者負担はなじまない。

# 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	
	今後も河川の環境保全について菊池川流域同盟を構成する9市町で協議していく。	
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
	次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的内容 市民の共有財産である美しく豊かな河川を次世代へ引き継いでいくため、菊池川流域同盟を構成する9市町及び市民・団体等と協力して河川の環境保全を推進していく。	

# ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	菊池川を次世代に引き継いでいくために流域9市町、住民団体及び関係機関と連携のもと地域の実情に応じた河川浄化につながる各種事業を行い、水質の保全と向上に努めていく。	評価責任者 <b>西川慶一郎</b>
----------------------	---	-----------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	用悪水路整備事業	所管課 【2】	土木課				
		作成者(担当者)	田中久勝				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり					重点 施策 【4】  <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(1)自然環境の保全					
	施策区分	(2)河川環境の保全					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約						
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 河川法、土地収用法、道路法 】 <input type="checkbox"/> 該当なし						
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業						
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【    】						款 8 項 3 目 2 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	住居地域における衛生環境の悪化した用悪水路の改修を行い、排水の円滑な流れを確保するとともに衛生的な生活環境を築く必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	臭気、蚊、蠅等の発生を軽減し、衛生的な生活環境を整備する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
	【    年度 】	【 H17 年度から 】	【    年度～    年度まで 】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【    】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【    】		
事務事業の具体的内容 【14】	排水路を整備することにより、雑草や土砂の蓄積を防ぎ、排水のスムーズな流れを確保する。		【15】 事務事業を構成する細事業( 5 )本
			① 用悪水路整備事業
			② 用悪水路整備委託事業
			③ 排水路整備に伴う機械借上事業

《事務事業実施に係るコスト》

			R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	50,600	47,010	49,600	53,700	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	18,824	17,694	20,334	18,909	0
		【16】 小 計	69,424	64,704	69,934	72,609	0
	職人 員 の 費	職員人工数	1.80	1.35	1.05	0.85	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
		【17】 小 計	9,772	7,498	6,013	4,889	
	合 計		79,196	72,202	75,947	77,498	



### 《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 用悪水路整備事業	生活排水路の改良を行う。	工事発注箇所数	箇所	3	5	6	6
② 用悪水路整備委託事業	生活排水路の改良を委託で行う。	委託発注件数	件	7	3	6	8
③ 排水路整備に伴う機械借上事業	軽微なものに対し、機械借上料を支給する。	機械借上件数	件	4	7	7	5

### 《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
				R04実績	R05実績	R06実績	
1	整備延長数	施工延長	m	483	453	440	341
				149.8	447.5	502.1	
2							

### 《事務事業の評価》

評価視点			判断理由
(必妥 要 当 性 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	
有効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	全体的に限られた予算の中で達成した。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	細事業の構成は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	より経済的な工法を検討している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	昨今の異常な豪雨等により冠水調査等における現地測量、調査等の手間を新たに要することになってきているため。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	検討の余地なし。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし。
公平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

### 《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する 見直し・改善状況  【24】	(前回のふりかえりの内容)		
	社会情勢は前年度と変わらず、資材・労務単価も上昇し続けている。 要望箇所については日々増加しているが、緊急性・必要性を考慮し、より効率的な排水路整備の推進を図る。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)  限られた予算の中で住居地域における衛生環境の悪化した用悪水路の改修を行い、排水の円滑な流れを確保するとともに衛生的な生活環境を築くことが出来た。		
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する 判断理由及び見直し・改 善の具体的内容	限られた予算の中で排水路を整備することにより、雑草や土砂の蓄積を防ぎ、排水のスムーズな流れを確保することが出来た。		

### ■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
市民の衛生的な生活環境の確保や環境改善に寄与する事業であり、今後も継続して事業を推進していく。	田上 幸二